

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和2年度第1回岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会
開催日時	令和2年6月29日(月)14時から15時35分まで
開催場所	岩倉市生涯学習センター研修室1
出席者 (欠席委員・説明者)	野口委員長、河村副委員長、彦田委員、伊藤委員、日比野委員、山田委員、中村委員、柴田委員、幾田委員、宮田委員 欠席委員：小川委員、鈴木委員、瀧内委員 説明者：健康福祉部長、長寿介護課長、介護保険グループ長、同担当、長寿福祉グループ長、同担当、健康課健康支援グループ長、岩倉市地域包括支援センター
会議の議題	(1) 高齢者保健福祉計画等推進委員会の今年度のスケジュール等について (2) 介護保険事業及び高齢者保健福祉事業の実施状況について (3) 地域包括支援センターの事業報告等について (4) 地域密着型サービスの整備について (5) 高齢者等の生活と介護についてのアンケート結果について (6) 第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定について
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()
会議に提出された資料の名称	・ 第8期岩倉市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定スケジュール案(資料1) ・ 介護保険事業実績報告について(資料2-1) ・ 高齢者福祉事業について(資料2-2) ・ 保健事業(資料2-3) ・ 令和元年度岩倉市地域包括支援センター・岩倉東部地域包括支援センター活動報告書(資料3-1) ・ 令和2年度岩倉市地域包括支援センター事業計画(資料3-2) ・ 地域包括支援センター委託先居宅介護支援事業所一覧(資料3-3) ・ 地域密着型サービスの整備について(資料4) ・ 岩倉市高齢者等の生活と介護についてのアンケート結果のまとめと課題(資料5) ・ 第8期介護保険事業計画のポイント(資料6)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

事務局より委員の交代について報告後、委員長よりあいさつがされた。

委員長：お久しぶりでございます。私も人前で喋るのが久しぶりなので、頭が動くかどうか少々不安なのですが、このような形で進めさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。ここから先は、皆さん座ってやりましょう。ただし、かなり大きな声を出さないと聞こえないので、前に向かって大きな声でご説明いただければと思います。それでは議題に入ります。今日は議題が6つあります。ただ、今日は報告事項ということなので、なるべく手短にお願いして次にいきたいと思っています。ただ、先ほどもご説明がありました。が、今年度は7期の事業の反省をしつつ、8期計画をつくっていかねばなりませんし、最終的には8期の介護保険料の決定をしていかねばならないので、そういう意味ではちょっと密になります。よろしくご協力いただきたいと思います。

2 議事

議題（1）高齢者保健福祉計画等推進委員会の今年度のスケジュール等について

資料1に基づき事務局より説明

委員長：先ほどご紹介いただいた事務局の方で、左側にある作業を進めていっていただきながら、この推進委員会で確認をしていく形を取っていきますので、今年度1番下の所にある「推進委員会等」に、①から⑤と5回が設定されています。この先どうなるのか、想像すらつかない状況ですが、とりあえず2月の後半には様々な決定をしていくというスケジュールの逆算ですので、よろしくご協力ください。まずはここにもありますように、8月の頭に、7期計画そのものをよく見直しながら、8期計画に向けて何が必要なのかご議論していただくということで、一応8月の頭を予定しております。その後、2か月ほど作業をさせていただいて、10月の終わりごろに、8期計画の素案をご提案させていただきますので、ご予約していただけますでしょうか。これはご報告事項なのでこのまま進めさせていただきます。よろしいでしょうか。よろしくお願ひします。

議題（2）介護保険事業及び高齢者保健福祉事業の実施状況について

資料2-1～資料2-3に基づき事務局より説明

委員長：2-1について何かご質問はありますか。概ね、計画の通りに進行していますよという事なのですが、基本的には高齢者人口が4分の1になっています。4人に1人は65歳上の市ですよということがほぼ確定していますので、そのことを頭に入れておくという事と、頑張ってもなかなか介護保険の収納が100%にならなくて、ここがギリギリのところかと。これも次のところに引っかかってきますので頭に入れていただければ。ただ、総合事業というのがなかなかうまくコントロールしきれていない気もしますが、それはまた後で議論したいと思っています。2-1についてはよろしいでしょうか。2-2の高齢者福祉事業についていかがでしょうか。

委員：今回のコロナに関して言えば、カフェについてだと、今までやってきたようなことを考えつつ、でもどういう場面でどうやって閉めるのかとか、オープンはどうするのかなど自分たちの判断でやっています。大きく「来てください」と呼びかけるわけでもなく、「来ないでください」と言うわけでもなく、でも「来たい」と言う方がいらっしやるので、その方の様子を見ながらやっています。それから、見守りSOSネットワーク事業など難しいと思うのですが、いろいろ考えて提案していただいたものにご協力させていただいているのですが、前は一つずつの地域に置いてやっていたのですが、それでは参加者もなかなか増えないということで、いくつかの地区が一緒になった所でやるように去年あたりから変更したり、実際、まちに出て声かけをするということをやってからグループワークで話し合う形でやったり。だから、みんなが知らんぷりしているのではなく、実際に経験、体験をしてもらうことでいろんなご意見を聞きつつ、広めていけたらと思います。いろんな形をやって、参加させていただいている現状です。

委員長：ありがとうございます。他の方はいかがでしょうか。民生委員さんにはウェイトがかなりかかっていると思いますか。

委員：このSOSネットワーク事業というのが、たまたまNHKでも放映されて、たまたま地元、愛知県だったということから、いろんな市民の声が、結果的に政府を動かした事例だと反響がありました。民生委員の皆さんも見えていらして、やっぱりいろんなところでもいろんなことに関心を持っていかなければならないと如実に感じていますので、これから民生委員そのものもいろんなことに目を向けながら、もちろん私たちの立場では高齢者が多いのですが、そういうことを肝に銘じなければいけないと、SOSネットワーク事業から皆さん感じておられました。

委員：ただ、令和2年度じゃあどうするんですかという計画を立てたときに、先が読めないもの、実施できないもの、実施できるもの、実施したいと言っても9月以降とか10月以降とか、みんな集中しそうな感じであるのですが、集中してやれるものとやれないものがあると思うので、今私たちが思っているのは、あれもこれもという形ではなく、この中で優先順位をつけて、これだけはこの時に一つは、今年度に限ってはやりたいよねとか、やろうという形で進めて行けたらと思います。訳も分からず、やってみたら何もできなかった、とならない形にしたいという話が出ています。

委員長：この状況下の中で、私たちが何を守っていかなければいけないのかというところは、なかなか判断が難しいのですが、現場でいろいろやってくださっている方は、一つひとつの決断をしなくてはいけない。そうすると、決断をしていくときの相談相手を、ネットワークをつくっておくことになると思うのですが、現場の人たちが孤立しないような仕組みにしておかなければいけないと思います。数字でいつも引っかかってしまうのですが、なくして良いというわけでは無いのですが、高齢者の自立支援のサービスでこういう数字でいいのかなというのがあるし、もっと的確な仕組みが必要なのか、いやこれはやっぱり残しておかなければならないのかどうなのかなという悩みます。よろしいでしょうか。それでは、福祉事業のところ、先ほど「健幸」とは健やかに幸せであれという条例についてのご説明をいただきました。その辺も数字というのがどれぐらいの意味を持つ

なかなか難しい判断なのですが、今日のご報告というところなのでよろしいでしょうか。

議題（３）地域包括支援センターの事業報告等について

資料３-１～資料３-３に基づき事務局より説明

委員長：ありがとうございます。報告ですので、またじっくり読んでください。

議題（４）地域密着型サービスの整備について

資料４に基づき事務局より説明

議題（５）高齢者等の生活と介護についてのアンケート結果について

資料５に基づき事務局より説明

委員長：いただいた報告書と事務局が作成した「まとめと課題」をもとにして皆さんりの書き込みをしていただけないでしょうか。こんなところをもっとこんな風に考えたらどうだろうということを書き込んでいただいて、事務局に出していただいても結構です。とりあえず、事務局へのご質問だけ受けて、私から皆さんに夏の宿題をお出ししておきます。

委員：３ページの生きがいつくりの課題のところ、最後「潜在的ニーズの高い男性の活動の支援」とあります。潜在的ニーズはあるということです。実際に会うと男性は個人の趣味とかそういうものをやっているのですが、ボランティアがお金になれば興味があるという傾向にあります。高齢者は１００人以上いるのですが、市の支援センターで企画した６５歳以上の集まりに来たのは４０人ぐらいでした。ボラ連は３４団体あり、私はいきいきライフにいますが、なかなか後継者がいません。皆さん一生懸命やっているのですが、私たちが引退した時は６０歳が定年でした。それでやる人がたくさんいたので、５０人ぐらいはいたのですが、今は２０人ぐらいになりました。時代もあるかもしれませんが、人材も私たちが頑張らなければならないということではあるのですが。いつも、あちこちから講師を呼んでどうしたらいいのか勉強しています。若い人に言っても今の時代やれないです。ニーズはあるけれども、実際はなかなか入ってこないという状況で何か考えがあるのかという事です。４ページの課題の「在宅医療と介護の連携のもと、多様なケースに応じた柔軟な支援ができる体制を整える必要があります」とあります。課題だから具体的なたくさん事はわからないかもしれません。ある在宅の人がいて、その人に対してどれぐらいの種類の関係されるお医者さんや看護師さん介護士さん、そういう人たちが、個人に対してこういう状況だとどれぐらい携わっているのか、いけるのか。岩倉はどういう体制でやっているのか知りたかったです。

委員長：一つ目はいいですね。なかなか男性が、地域にデビューしてくれないことを、なんとかしなければいけないというのは課題で、それはよろしいですね。もう一つのところで４ページのところに「在宅医療と介護の連携のもと、多様なケース」とあったときに、在宅で介護療養を必要とする人が、あるいはそのご家族がどれぐらいのサービスを受けること

ができるのか、必要とするのか計量的な調査はできているのでしょうかという質問でしょうか。この調査ではできないです。先ほど、冒頭でご説明があったように、これは記名式で調査をお願いしているので、要支援の段階の方々の方が実際、今どれぐらいサービスを受けているかという事は、市としてはデータを持っています。それが足りているのか、足りていないのかはある意味難しいですが、どれぐらいの提供量になっているのか計ることはできます。要支援1の人が平均的にどういうサービスの組み合わせで、今どれぐらいの量のサービスを利用されていて、それがこのアンケート調査の結果とどう連動しているのかという分析ができるようになっていきます。ですので、それはしてくださいね。そうすると、パターンがいくつか出てくるはずですよ。家族がかなり頑張っているケースから、効率的にサービスを利用しながらうまく介護を乗り切っているケース、それがおそらく多様なケースという表現になります。それをどのように岩倉として推進していくのか推奨していけば良いのかというのが次の課題として出てくるということです。そう理解していいですか。どれがいいか悪いかはなかなか難しいですが、現実には岩倉としてこのような利用の仕方がある、このようなパターンがあるというのは提示することができます。よろしいでしょうか。では、じっくり事務局に作っていただいたデータを見ながら、書き込んでいく作業をさせていただきたいと思います。それをもとにしながら、第8期の介護保険事業計画のポイントをご説明させていただきたいと思います。ただ、これはまだ中間的なことです。

議題（6）第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定について

資料6に基づき事務局より説明

委員長：介護保険事業計画は3年に1度ですから、3年に1度の3年間をきちんと運営しなさいという事なのですが、7期でも散々言われてきたのですが、いわば、「介護保険持続可能性」という言葉が随所に出てきます。持続可能性という事はたくさんサービスをつくってサービスを利用すればじゃあ問題解決がしますねというわけでもないことも含めて2025年、2040年を一つの山場として、それぞれの自治体がどういうサービス運営をしていけば良いのかを考えました。それは、在宅介護だけではなく、在宅医療、在宅療養も視野に入れて考えなさいという宿題をもらっています。と言うことが今、ざっとご説明をいただいて、私たちがこれから半年で8期計画をつくっていくという宿題です。今日は、どういうことをこれから半年かけてやるというご紹介に留まってしまうのですがよろしいでしょうか。

3 その他

事務局：令和元年度の第3回の書面会議をさせていただきました。その結果なのですが、本来ならもっと早くお示しするところでしたが、今日になってしまいました。申し訳ございません。今手元に配布されていると思いますが、そちらをご覧いただきたいと思います。書面会議の議題ですが、承認事項1点と報告事項が2点ありました。承認事項ですが、地域包括支援センターの実施方針等についてというのがありまして、ご意見をいただいた方もございますが、12人の方全員に承認していただきました。ありがとうございました。

す。意見とかはこちらの書面に記載してございますので、そちらをご覧になって、報告にさせていただきますと思います。よろしくお願ひします。もう一点、連絡事項なのですが、次回の開催の日程の件につきましては、8月上旬を予定しております。また近々決まり次第通知の方させていただきますのでよろしくお願ひします。

委員長：こんな状況の中、会議をやるのは1時間半が限度だろうということです。少し急ぎましたが、これだけは言っておきたいという方がいらっしやいましたら。よろしいでしょうか。

事務局：本日は長時間にわたり慎重なご審議をいただきありがとうございます。これをもって第1回岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会を終了させていただきます。